

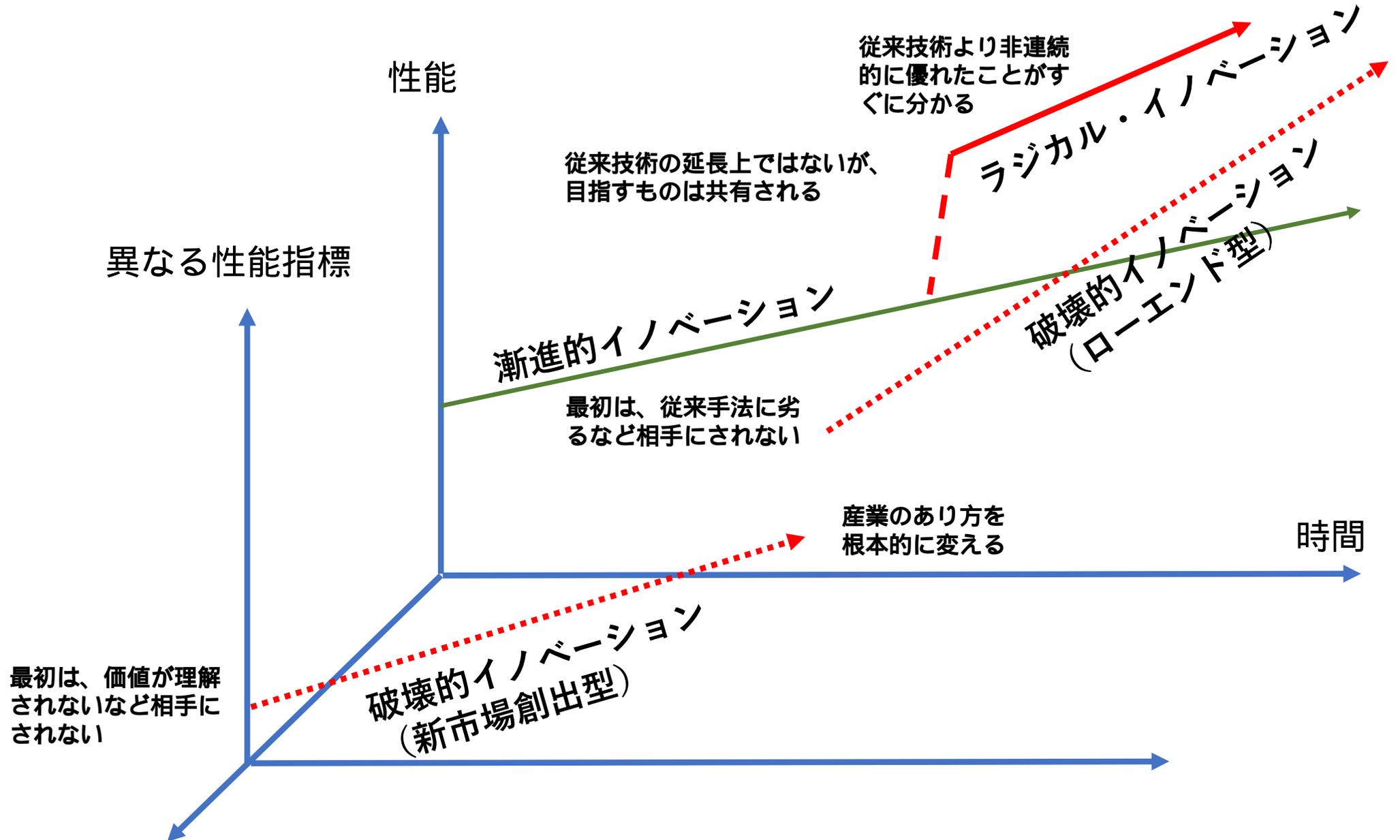
21世紀型ムーンショットのあり方

北野宏明

目標設定

- 一言で言い表わせるまで研ぎ澄ます
 - 誰にでも分かる目標
 - 研ぎ澄まされているから、想像力をかき立てる目標
- インパクトのある目標
 - 人類の未来を変えるような目標
 - 幅広い共感とワクワク感があり、未来を見せる目標
 - 困難に光が差し、希望が見える目標
- スローガンではなく、コミットメント
 - 大きな共感を得たら、実現する義務がある
 - マイルストーンを設定し、戦略・作戦の修正が可能となる
 - 技術開発だけではなく、社会実装の枠組みの変革も伴う
- 結果として、多様なイノベーションの複合となる
 - 一定のコンセンサスが可能であり、従来の延長上にはない
 - 基本的にラジカル・イノベーションを前提とするが、破壊的イノベーションを誘発する仕掛け（Start upの参加など）を組み込む

イノベーションの諸形態



クリステンセンら著、「イノベーションの最終解」翔泳社、2014 及び、
玉田俊平太著、「日本のイノベーションのジレンマ」翔泳社、2015 より改変

ムーンショットプロジェクトのありうる形態

- テクノロジー駆動型
 - 研究開発の成果が、すぐさま目標達成に直結するもの
 - 例：アポロ計画、ノーベル賞級の科学的発見をするAIの開発
- テクノロジー + 社会変革連動型
 - 研究開発の成果のみでは目標につながらず、社会的変革を同時に実現する必要があるもの
 - 例：CO2削減、海洋ゴミ完全除去
- 社会変革駆動型
 - 社会構造の変革が駆動力となり、それをサポートするために技術開発が行われるもの
 - 例：貧困解消

テクノロジー + 社会変革連動型

研究開発と社会実装に向けた枠組みの変革を同時に行ったために、成果が急速に普及し、目標が実現された

- 挑戦的だが、現実的マイルストーン設定がされ、段階的導入が可能となった。一部は、オープンソースにしたので、爆発的に普及した
- 目標に賛同し、非常に早い段階から国際的ネットワークが立ち上がった
- 周辺に多くのスピアウトが作られ、急成長するベンチャーが多数出現
- 色々なレベルでのステークホルダーが世界中に出現し、連携が加速する
- 日本のムーンショット計画が、その第一歩となる
- 領域横断、産学官連動の総力戦で達成した

こうなって欲しくない

技術は作りました、あとは使ってもらえればいいんですが

- そもそも、経済性や政治状況なども考えて、使ってもらえる技術なのか？
- 人類の未来を変えるのが目標、単に研究開発ではない
- なし崩し的に、単なる重点領域化する